

# YAMATO INTERNATIONAL REPORT

第80期  
中間株主通信

2025年9月1日～  
2026年2月28日

**SWITCH**  
**MOTION**  
**CROCODILE**



[証券コード 8127]

**yamato**  
INTERNATIONAL

株主の皆様へ

# ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創ります



取締役社長  
盤若 智基

株主の皆様方には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第80期中間株主通信(2025年9月1日から2026年2月28日まで)をお届けするにあたり、その概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安を背景とする物価高、金利・賃金の上昇等にみられるとおり、インフレ社会が到来し時代の転換期を迎えております。国際情勢や金融市場はますます複雑化し、先行き不透明な状況が続いております。米やガソリンをはじめとする物価上昇によるお客様の生活防衛意識の高まりや、常態化する猛暑・残暑等気候変動による衣料品全般に対する購買動機とその機会の変容が懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でも どのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランド「シン・ブランド創り」を目指しております。

これらを背景に始動した中期ビジョン「Yamato 2026」では10年後を視野に、既顧客の活性化を大前提としながらも、次の世代の潜在顧客獲得に より比重を置いた戦略を実践してまいります。そして、10年後の

あるべき姿として、次の世代のお客様が当社のブランドを認知認識し、私たちが創り手の意図を理解し、詳細な特徴を語り他者へ共有できる、更にはお客様同士も共鳴できる状態。お客様も社員も誇れる真のブランドになっている姿を目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、「大人のTPO」をスマートに演出するブランドをコンセプトに、改めて原点である顧客起点に立ち返り、既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築してまいります。潜在顧客の獲得に向けましては、「クロコダイル」グループにおける先進的な役割を担う2つの「ストラテジックライン」が順調に成長しております。デザイン性トレンド性を最も重視したラインである「クロコダイル コード」は、スタイル/コーディネート提案を強化。もう一方の「スイッチモーション クロコダイル」は、先進的なスポーツ業界が取り組んでいる工夫や進化といった要素を取り入れ、「もの創り」を最も重視したラインとなり、引き続き戦略的に提供価値の構築を目指してまいります。

また、商標権を自ら保有しライセンス事業を展開する米国発アウトドアファッションブランド「Penfield(ペンフィールド)」と、ハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt(ライトニングボルト)」は、ブランド認知度と価値向上に注力し、「クロコダイル」ブランドのライセンス事業と合わせて更なる拡大を目指してまいります。

## 当中間連結会計期間における連結業績及びその他の事業報告 (2026年2月28日現在)

中期ビジョン「Yamato 2026」の最終年度である2026年8月期は、引き続き主要分野へ注力いたしました。レディースは堅調に推移し伸長いたしました。一方で主要取引先の構造改革の影響や、猛暑・残暑対応で苦戦した「クロコダイル」メンズが課題となり、微減収・減益となりました。これを受け、3月27日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

### ■連結業績

【売上高】	104億8千1百万円(前年同期比0.6%減)
【売上総利益率】	54.0%(前年同期比1.6ポイント減)
【営業利益】	△4千8百万円(前年同期は営業利益3千8百万円)
【経常利益】	3千2百万円(前年同期比68.1%減)
【親会社株主に帰属する中間純利益】	7千7百万円(前年同期比 3.8%増)

### ■セグメント別

【繊維製品製造販売業】	103億4千3百万円(前年同期比0.5%減)
【不動産賃貸事業】	1億3千8百万円(前年同期比3.4%減)

### ■国内展開店舗(※2026年2月28日現在)

コーナー・FC店/803店舗 直営・アウトレット店/16店舗

### ■ヤマト インターナショナルグループ状況

当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、EC事業の成長に伴い小口配送の件数が年々増加しております。近年導入を進めてきた自動ソーター、自動製封函機、及びカメラ認証システムも活用し、物流業務の変化にも対応しております。今後も、積極的な投資による業務の自動化、省人化を推進することで、更なる生産性向上を図ってまいります。





## 「シン・ブランド創り」

いつの時代でも どのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランドを創ることを目指してまいります。

### ■中期ビジョン「Yamato 2026」

「シン・ブランド」を創ることを常に目指し、中期ビジョン「Yamato 2026」では、主要分野である①収益率を高める分野(GMS)②売上を伸長させる分野(EC)③将来の成長基盤を確立する分野(直営)に引き続き注力してまいります。

### ■4つの施策

インフレ社会の到来による生活防衛意識の高まりによって、消費者の購買動機に変化が生じております。

時代の変化に合わせてブランド・商品・サービスの価値をアップデートし提供することが重要であると考えており、2026年8月期は主要分野への注力に加え、①戦略的な価格 ②実現するための供給体制の構築 ③ストラテジックライン ④EC事業への投資拡大を推し進めてまいります。

#### ①戦略的な価格

素材・デザイン・仕様において独自性 差別性を確立し、市場で高く評価されている商品については価格を維持、あるいは付加価値に見合った価格改定を行ってまいります。その一方で、この数年で高価格帯に偏り過ぎてしまった一部の商品については、インフレ禍においても手に取りやすい価格での企画・提供が不可欠となります。各商品の目的を明確にし、価格帯の幅を持たせ、そのボリュームの最適化を図ることで、お客様にとって「お求めやすく、選びやすい」商品構成を目指してまいります。

#### ②実現するための供給体制の構築

仕入先と連携し検品・検針業務フローを見直し、更には直買や直流を活用した調達枠や東南アジア生産の拡大、副資材の現地調達等を推進しております。これらの業務を合理化することで、リードタイムの短縮とコスト削減を目指してまいります。戦略的な価格設定とそれを実現するための供給体制の構築を並行して推し進めることで、既顧客の活性化に加え、これまで「クロコダイル」に触れる機会がなかった次の世代の潜在顧客の獲得も目指してまいります。

#### ③ストラテジックライン

次の世代の潜在顧客の獲得を目指す「ストラテジックライン」である「クロコダイル コード」と「スイッチモーション クロコダイル」の伸長がレディス構成比拡大に大きく貢献しております。「クロコダイル」グループとしての一貫性を保ちながらも、それぞれのラインがターゲットとする顧客層に対して、提供すべき商品の明確なテイストやその価格帯が定まりつつあります。その結果、レディスにおいては売上・粗利・粗利率全てが伸長しており、この下期においても積極的に新規売場の獲得を目指してまいります。

#### ④EC事業への投資拡大

2025年10月には「クロコダイル」公式アプリをリニューアルし、実店舗とECの会員情報・ポイントを共通化いたしました。今後も会員獲得に注力するとともに、相互に送客を図りながら、お客様一人ひとりにパーソナライズされた顧客体験(CX)の更なる向上を目指し、EC売上の伸長と利益重視の運営を行ってまいります。

### ■資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

株主資本の効率的運用及び収益性の観点から、当社はROEを重要な経営指標ととらえ、継続的な「利益の拡大」と「資産効率の向上」に取り組んでおります。「利益の拡大」では、中期ビジョンで掲げる「シン・ブランド創り」の実現を目指し、主要分野における各戦略を着実に実践するとともに、将来の成長を見据えた積極的な投資も継続してまいります。「資産効率の向上」では、株主の皆様への更なる利益還元と資産効率の向上を目的に、2026年2月に自己株式取得を実施いたしました。あわせて、政策保有株式の縮減も計画的に進めております。これら成長投資、株主還元、及び資産の圧縮をバランスよく実行することで、ROEの向上、ひいてはPBRの向上を目指してまいります。

### ■通期連結業績予想

【売上高】	205億円
【営業利益】	1億8千万円
【経常利益】	2億7千万円
【親会社株主に帰属する当期純利益】	2億円

### ■配当

2026年8月期の配当金につきましては、「配当政策の基本方針」に則り、1株当たり年間14円(中間6円、期末8円)を予定しております。今後も事業の更なる成長を図るとともに、株主の皆様への利益還元や資本効率の改善等による中長期的な株式価値の向上を目指してまいります。

デザイン性・トレンド性を最も重視したライン「クロコダイル コード」  
EDWIN別注によるデニムセットアップを販売。正統派デザインながら、  
ほどよく大人のトレンドを意識したスタイルを提案します。



株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	当中間期末 2026年 2月28日現在	前 期 末 2025年 8月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	11,457,809	10,308,720
現金及び預金	5,145,812	4,880,363
受取手形、売掛金及び契約資産	1,373,268	1,187,424
有価証券	1,800,000	1,499,771
棚卸資産	2,914,523	2,470,100
その他	224,203	271,060
固定資産	14,149,123	12,992,413
有形固定資産	6,726,799	6,699,373
無形固定資産	4,294	4,891
投資その他の資産	7,418,029	6,288,147
投資有価証券	7,022,597	5,902,647
差入保証金	109,639	109,523
その他	313,464	303,648
貸倒引当金	△ 27,671	△ 27,671
資産合計	25,606,932	23,301,133
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,897,997	4,563,137
支払手形及び買掛金	652,357	625,351
電子記録債務	4,231,212	2,830,289
1年内返済予定の長期借入金	197,372	230,572
その他	817,055	876,925
固定負債	1,785,803	1,423,554
長期借入金	528,659	585,745
その他	1,257,144	837,809
負債合計	7,683,800	5,986,692
<b>純資産の部</b>		
株主資本	15,652,708	15,847,465
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	6,209,217	6,336,023
自己株式	△ 462,853	△ 394,903
その他の包括利益累計額	2,270,423	1,466,976
純資産合計	17,923,132	17,314,441
負債純資産合計	25,606,932	23,301,133

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位：千円）

科 目	当中間会計期間 2025年 9月 1 日から 2026年 2月28日まで	前中間会計期間 2024年 9月 1 日から 2025年 2月28日まで
売上高	10,481,125	10,539,208
売上原価	4,817,071	4,676,960
売上総利益	5,664,054	5,862,247
販売費及び一般管理費	5,712,418	5,823,357
営業利益	△ 48,364	38,890
営業外収益	86,591	68,660
営業外費用	5,299	4,436
経常利益	32,927	103,113
特別利益	95,043	—
特別損失	5,798	215
税金等調整前中間純利益	122,172	102,897
法人税、住民税及び事業税	42,469	26,258
法人税等調整額	1,789	1,550
中間純利益	77,913	75,087
親会社株主に帰属する中間純利益	77,913	75,087

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

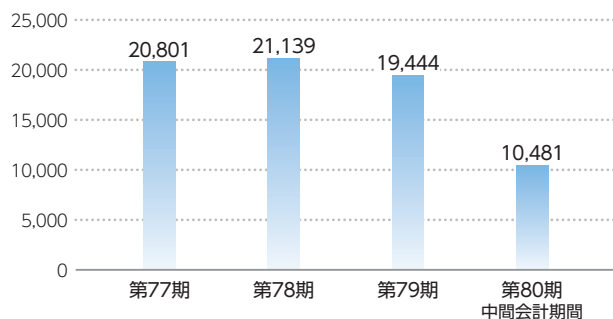
科 目	当中間会計期間 2025年 9月 1 日から 2026年 2月28日まで	前中間会計期間 2024年 9月 1 日から 2025年 2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	871,844	63,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	262,538	△ 181,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 368,726	△ 185,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 207	1,152
現金及び現金同等物の増加額	765,449	△ 301,983
現金及び現金同等物の期首残高	6,180,363	7,455,520
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,945,812	7,153,536

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 財務・業務ハイライト（連結）

### ●売上高

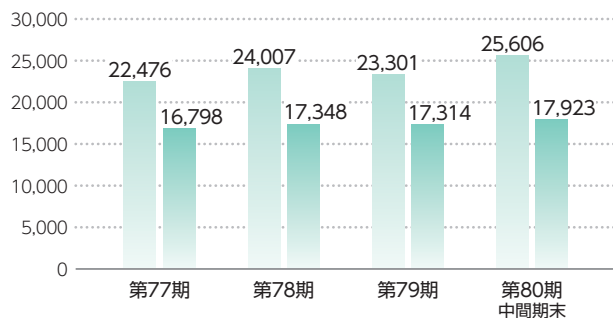
(単位：百万円)



### ●総資産／純資産

(単位：百万円)

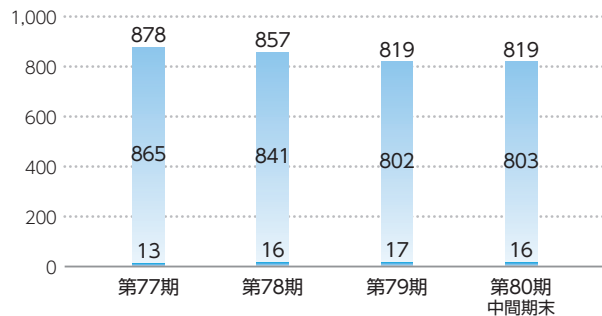
■ 総資産 ■ 純資産



### ●小売・自主管理型売場数

(単位：店)

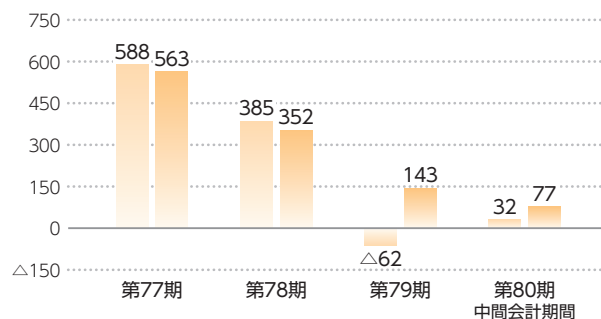
■ コーナーFC ■ 直営・アウトレット



### ●経常利益／親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位：百万円)

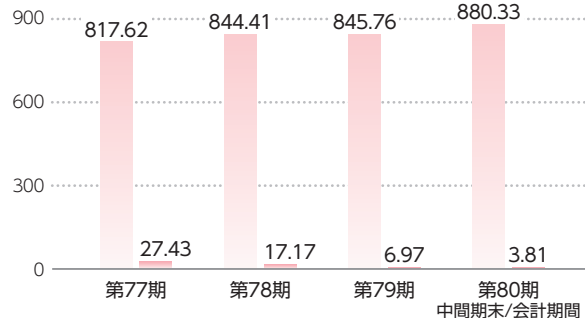
■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



### ●1株当たり純資産額／1株当たり中間(当期)純利益

(単位：円)

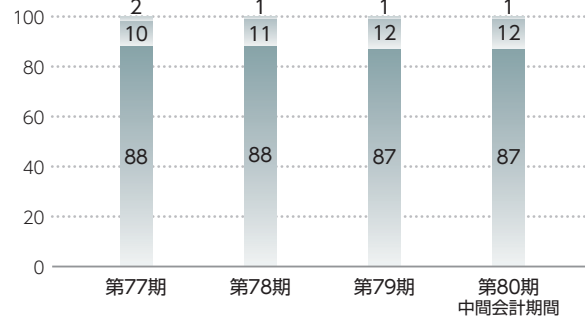
■ 1株当たり純資産額 ■ 1株当たり中間(当期)純利益



### ●小売・自主管理型売場等の売上比率

(単位：%)

■ 不動産 ■ 卸型・その他 ■ 小売・自主管理型



## 株式の状況

2026年2月28日現在

発行可能株式総数	71,977,447株
発行済株式の総数	21,302,936株
株主数	15,104名 (前期末比 3,655名減)

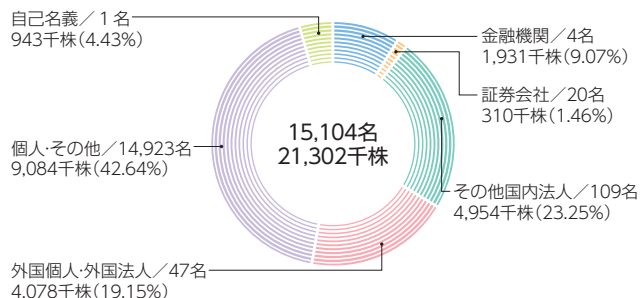
## 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
INTERACTIVE BROKERS LLC	3,803	18.68
セネシオ有限会社	2,600	12.77
株式会社三菱UFJ銀行	919	4.51
盤若 智基	601	2.95
日本生命保険相互会社	574	2.82
藤原 美和子	374	1.83
盤若 真美	353	1.73
株式会社りそな銀行	308	1.51
MNインターファッション株式会社	300	1.47
蝶理株式会社	287	1.41

(注) 持株比率は、自己株式（943千株）を控除して計算しております。

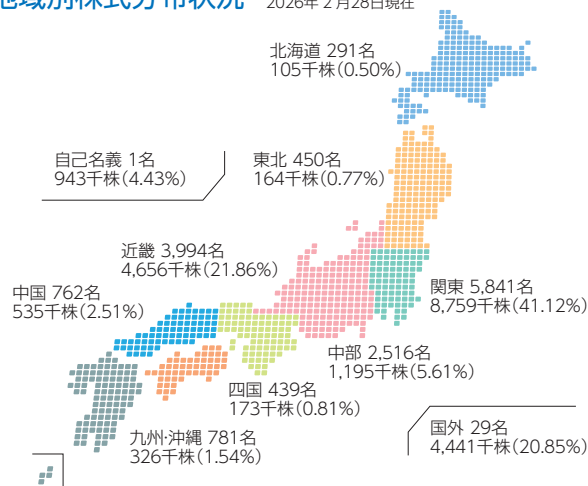
## 所有者別株式分布状況

2026年2月28日現在

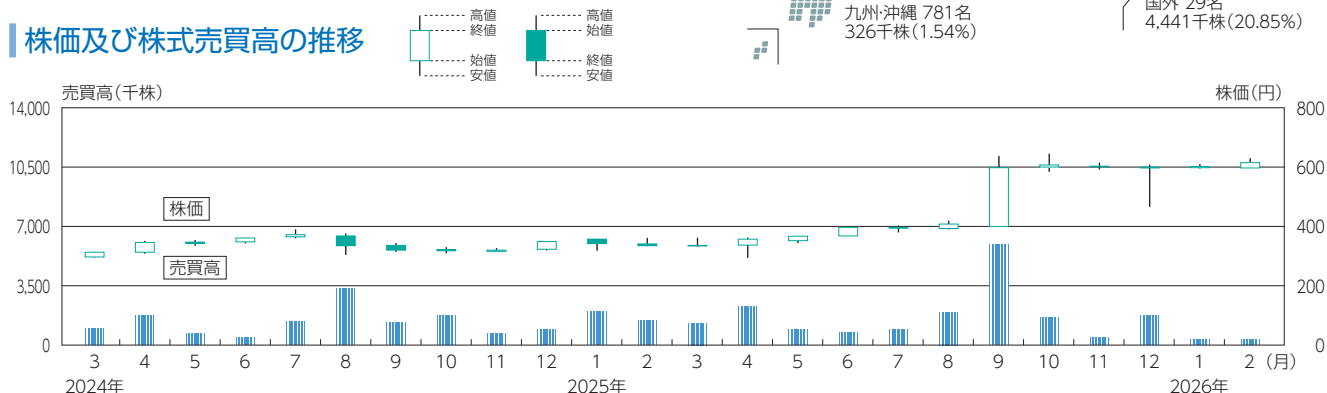


## 地域別株式分布状況

2026年2月28日現在



## 株価及び株式売買高の推移



## 会社概況

2026年2月28日現在

設立	1947年（昭和22年）6月16日
資本金	4,917,652,803円
主要な事業内容	当社グループは、カジュアルウェア中心のグローバル企業として、カットソーニット、布帛シャツ、横編セーター、アウター、ボトム、その他小物雑貨等の繊維製品製造販売業及び不動産賃貸事業並びにこれらに関連した事業を営んでおります。
主な事業所	大阪本社 大阪府東大阪市森河内西一丁目3番1号 東京本社 東京都大田区平和島五丁目1番1号
連結子会社	ヤマトファッションサービス株式会社 本社 大阪府東大阪市
当社グループの従業員数	153名（960名）

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に当中間連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

## 役員の状況

2026年2月28日現在

代表取締役社長	盤 若 智 基
取締役常務執行役員	梅 川 実
取締役常務執行役員	川 島 祐 二
取締役常務執行役員	増 田 道 則
取締役（社外取締役）	北 村 禎 宏
取締役（社外取締役）	森 山 義 子
常勤監査役	奥 中 信 一
常勤監査役	水 光 知 宏
監査役（社外監査役）	細 川 良 造
監査役（社外監査役）	山 田 奈 央 子
常務執行役員	辻 紀 明
常務執行役員	保 田 大 輔
執行役員	門 井 嘉 裕
執行役員	長 尾 享 諭

（注）取締役 北村禎宏氏、取締役 森山義子氏並びに監査役 細川良造氏、監査役 山田奈央子氏は、株式会社東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない、独立役員であります。

## 株主優待制度のご案内

毎年8月31日現在の当社株式300株以上ご所有の株主様に対して下記の基準により贈呈いたします。  
※第80期より、株主優待制度の内容を変更しております

### 【ご所有株式数】

500株以上  
  
300株～499株

### 【ご優待内容】

当社オンラインショップ利用クーポン券 3,000円分  
＋オリジナルタオルハンカチ  
当社オンラインショップ利用クーポン券 1,000円分  
＋オリジナルタオルハンカチ  
※クーポン券の利用可能期間は、いずれも約12ヶ月を予定しております

ご優待品の発送は12月（予定）となります。


なお、株主優待制度へのお問合せは、下記の電話番号及びメールアドレスまでお願いいたします。

電話 06-6747-9500（総務課） メールアドレス soumubu@yamatointr.co.jp

## 株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月に開催
基準日	定時株主総会 毎年8月31日 期末配当 毎年8月31日 中間配当 毎年2月末日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="https://www.yamatointr.co.jp/">https://www.yamatointr.co.jp/</a> )に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

## お問合せ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出などのお問合せ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a>
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問合せ	右記みずほ信託銀行までお問合せ願います。	
株主総会資料の電子提供制度（書面交付請求）についてのお問合せ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問合せ願います。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。お届出が済んでいない株主様は、上記お問合せ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

上場金融商品取引所 東京証券取引所スタンダード市場 証券コード 8127

## ヤマト インターナショナル株式会社

〒577-0061 大阪府東大阪市森河内西一丁目3番1号  
TEL.06-6747-9500 (代表)



## BRAND INDEX



【クロコダイルメンズ】



CROCODILE

【クロコダイルレディス】

SWITCH  
MOTION  
CROCODILE

【スイッチモーション クロコダイル】

CROCODILE CODE

【クロコダイル コード】



【ペンフィールド】



【ライティングボルト】

## クロコダイル公式アプリ



クロコダイル公式アプリが  
さらに見やすく、  
使いやすくなりました。



全国のショップとオンラインショップのご利用で  
ポイントが貯まる・使える

インストールは  
こちら

## クロコダイル公式インスタグラム



着こなしのご提案、  
新商品のご紹介など  
様々なコンテンツを配信!



@crocodile\_jp

アカウントは  
こちら